

平成23年度 第1回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	平成23年7月11日（月） 松江市役所 本館西棟4階 会議室		
委 員 員	委員長 朝田 良作（島根大学法科大学院教授） 委 員 有田 友子（島根地方労働審議会委員） 上田 務（松江工業高等専門学校名誉教授） 大野 敏之（弁護士） 後藤 勇（公認会計士）		
審議対象期間	平成22年12月1日～平成23年3月31日		
報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率等の状況について ・入札方式別発注工事等の状況について ・入札制度の改善について ・指名停止等の運用状況について 		
審 議 事 項	抽出案件数 5件	（備考） 抽出の考え方（抽出担当委員） 次の点に着目し、抽出を行った。 ・落札率の高い案件。 ・契約金額の高い案件。 ・入札参加業者数が多い又は少ない案件。	
	一般		1. 栽培センター殺菌設備工事
	指名		2. 平成22年度保田川改良工事 3. 市道大森上来待線外舗装改良工事
	随契		4. IP電話整備工事
	指名		5. 松江市総合文化センター中長期 保全計画策定業務委託
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見 又は勧告の内容	なし		

※参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

入札方式	一般競争入札		
工事名	栽培センター殺菌設備工事		
工期	平成23年1月12日～平成23年3月25日		
工事種別	管工事		
工事概要	<p>鹿島・島根栽培漁業振興センターにおいて、健全なアワビの種苗を飼育するため、水の紫外線殺菌装置を導入する。</p> <p>紫外線殺菌装置 2台 配管設備 1式 電気設備 1式</p>		
入札参加資格	<p>① 営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>② 工事実績 平成9年度以降に完成した1契約で2千500万円以上の建築物に付随する給排水衛生設備工事の施工実績があること。</p> <p>③ 配置予定技術者 ・申請者との直接的・恒常的な雇用関係 ・監理技術者又は主任技術者としての資格を有する者</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。</p> <p>経緯：平成22年11月25日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	3社		
入札参加業者数	3社	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	62,520,150円		
調査基準価格（税込）	54,681,900円		
契約金額（税込）	61,635,000円（落札率：98.58%）		
無資格理由の説明	該当なし		
入札の経緯及び結果	<p>平成22年12月27日 開札 最低価格者：カナツ技建工業㈱</p> <p>平成23年1月4日 資格審査の結果、カナツ技建工業㈱に落札決定。 （詳細は「入札調書」のとおり。）</p>		

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	平成22年度保田川改良工事
工期	平成22年12月10日～平成23年3月25日
工事種別	土木一式工事
工事概要	L=49m ブロック積工 114m ² 土工一式 仮設土工一式
工事のランク	土木一式工事 B等級又はC等級又はD等級
指名業者数	10社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木一式工事登録のある市内業者のうち、下記①の要件を満たす39社から10社をローテーションにより選定した。 ①建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋北地区にあること。
入札参加業者数	1社（9社辞退）
予定価格（税込）	6,892,200円
最低制限価格（税込）	5,557,965円
契約金額（税込）	6,877,500円（落札率：99.79%）
入札の経緯及び結果	平成22年12月8日 開札（有飛鳥興業に落札決定。 （詳細は入札経過表のとおり。）

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	市道大森上来待線外舗装改良工事
工期	平成22年12月22日～平成23年2月28日
工事種別	舗装工事
工事概要	施工延長L=650m 幅員W=6.3～6.5m 表層工A=4,324 m ² 薄層舗装工A=312 m ² 再生路盤工A=4,324 m ²
工事のランク	なし
指名業者数	12社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有（継続的なリース契約を含む）し、恒常的にオペレーターが在籍している12社から全社を選定した。
入札参加業者数	12社
予定価格（税込）	18,576,600円
最低制限価格（税込）	15,118,950円
契約金額（税込）	16,957,500円（落札率：91.28%）
入札の経緯及び結果	平成22年12月15日 開札 日発工業(株)に落札決定。 （詳細は入札経過表のとおり。）

抽出事案説明書

入札方式	随意契約
工事名	IP電話整備工事
工期	平成23年2月22日～平成23年8月31日
工事種別	電気通信工事
工事概要	<p>平成23年8月1日に新たに合併する東出雲町役場を、松江市役所本庁舎及び各出先機関と内線電話網で結ぶ電話ネットワークの構築を行うもの。</p> <p>市役所の既設電話交換機が端子容量不足のため、市役所本庁舎の電話交換機室に、ハイブリッド電話交換機（IP-PBX）を増設して、東出雲町向けのメディアゲートウェイを収容する。</p> <p>そして東出雲町の既設電話交換機と接続し、各支所と同様のサービスを提供する。</p> <p>この整備工事により、市役所の各部門間で効率的・経済的に内線電話通信を行えるようにする。</p>
随意契約の理由	<p>当初のシステム構築を西日本電信電話株島根支店で行っており、その保守管理については、技術的及び著作権上当該業者以外では不可能である。</p>
適用条項	<p>地方自治法施行令第167条の2 第1項 第2号</p> <p>【不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるため必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。】</p>
契約金額（税込）	7,035,000円
見積の経緯及び結果	<p>平成23年4月21日 見積書提出</p> <p>西日本電信電話株島根支店と契約締結</p>

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	松江市総合文化センター中長期保全計画策定業務委託
委託期間	平成23年1月12日～平成23年3月25日
業務種別	保全計画策定
業務概要	<p>施設の維持修繕について、全体的な老朽修繕を一度に行うには多額の費用を要するため、危険度に応じて適切な処理を適切な時期に計画的に施し、建物の長寿命化と経費の削減を図る必要がある。</p> <p>そのため、全般的な建築・設備の危険度及び老朽度の的確な把握を行うため、劣化状況調査を実施し、併せて計画的な中長期の修繕保全計画の策定を行うもの。</p> <p>(1) 建築及び設備の老朽度調査</p> <p>ア 施設一次調査診断 建築・設備とも目視、点検記録確認等による老朽度診断</p> <p>イ 施設二次調査診断</p> <p>① 建築詳細調査</p> <p>a 外壁打診調査</p> <p>② 設備詳細調査</p> <p>a 設備配管内視鏡調査</p> <p>b 設備配管超音波肉厚測定</p> <p>c 設備配管X線肉厚測定</p> <p>(2) 中長期保全診断計画の策定 老朽度調査結果を踏まえ、向こう20年間の中長期の保全計画を策定する。</p>
業務のランク	なし
指名業者数	6社
指名業者を選定した考え方	<p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、建築コンサルタント登録のある市内業者のうち、下記①の要件を満たす6社を全者選定した。</p> <p>①建築士の資格を有する者4名以上(内一級建築士2名以上)が在籍しているもののうち、本業務が対応可能なもの。</p>
入札参加業者数	6社
契約金額(税込)	13,440,000円
入札の経緯及び結果	平成23年1月7日 開札 矢野建築設計事務所(有)に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

【報告事項について】

(契約検査課長挨拶)

- ・今回は平成 22 年 12 月から平成 23 年の 3 月までの案件についてご審議いただく。今回対象となる期間は比較的落札率が高い案件が多く、抽出案件も落札率の高い案件が抽出されていると聞いている。そのような中で委員の皆様から忌憚の無いご意見をいただきたい。

1. 落札率等の状況について

(報告要旨)

- ・平成 22 年度の落札率は 85.99%と大きく下がっている。しかし、全体から調査基準価格及び最低制限価格を設定しない工事を除いた場合の落札率は 89.76%となっており、平成 21 年度と同じ状況下と比較すると、0.96 ポイントの減少となり、平成 19 年度以降落札率は徐々に低下する傾向が続いている。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、1 月の落札率が比較的高くなっている。個々の案件について前年度と比較してみると、設計額が高い工事について落札率が上がっている傾向が見受けられる。工種としては主に管工事、土木工事が占めている。
- ・2、3 月は低くなっているが、これは年度末に発注した工事には次年度へ繰り越す事業が多く、入札段階からすでに工期が長めに設定されていたため、業者の受注意欲が高かったのではないかと考えている。
- ・工種別の落札率について、土木工事は平成 19 年度から低くなる傾向が続いていたが、平成 22 年度は高くなっている。一般競争入札、指名競争入札ともに落札率が若干上昇している。
- ・建築工事は落札率が下がっている。平成 21 年度は特別共同企業体発注工事、しかも設計金額が高い工事の落札率が高かったが、平成 22 年度は特別共同企業体発注工事の落札率が比較的低めであったことが影響していると考えている。
- ・管工事は前年度と同様に落札率が高い状況が続いている。年度当初に比べ、年度の終盤になるにつれて落札率が上がっている。
- ・舗装工事については落札率が下がっている。個々を見ると、全体的に下がっている。平成 21 年度は落札率 97%以上のものが約 9 割弱あったが、平成 22 年度は 3 割弱にとどまっている。また、特殊工事、設計金額が高い工事の落札率が低かったことも要因の一つと思われる。
- ・価格帯別の落札率推移については、2 千万円から 3 千万円、6 千万円から 7 千万円、7 千万円から 8 千万円、1 億円から 1 億 5 千万円の価格帯で落札率が 3 年連続低下している。
- ・登録工事業者の分類表について昨年度と 23 年度との比較をしている。平成 22 年度には業者登録を行っており、市内業者、市外業者ともに登録業者数が減少しており、全体としても減少している状況である。
- ・業務委託について、平成 21 年度に比べると約 6.1 ポイント上がっている。これは、平成 22 年度から低入札価格調査制度を導入したことにより、落札率が上がったのではないかと考えている。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

(報告要旨)

- ・期間中も平成 22 年度の平均をみても、指名競争入札よりも一般競争入札の方が落札率が低くなっている。
- ・工種別の平均を見比べても一般競争入札の方が低くなっている。土木一式工事については指名競争入札に比べて一般競争入札が約 10%程度、建築は 3%低くなっている。

質 問 及 び 意 見

回 答

- | | |
|--|--|
| ○特に工種別の電気通信について年度別に比較をすると、件数が多くなると落札率が低くなるという傾向があると言えるだろうか。 | ○平成 22 年度は、調査基準価格及び最低制限価格を設定しない工事、しかも設計額が高い工事として「松江市防災行政無線(デジタル同報系)整備工事」があったため、落札率が大幅に低くなっていると考えます。 |
| ○登録別業者分類表の中で、鉄筋工事の業者数が平成 23 年度登録時に 0 件となっている。こういう場合、発注時にどこも対応できないということになるのか。それとも他分類で登録されている業者が行うということに | ○基本的にこの分類は建設業法許可によるものであるが、松江市発注の工事では鉄筋工事だけで独立して完結するケースはまず無いものと考えられる。したがって、この業種で松江市が工事を発注することは考えられないの |

<p>なるのか。</p> <p>○ここ3年間で落札率が落ちてきているが、一般競争入札は落札率が下がっているが、指名競争入札は比較的高いところで留まっている。価格帯として1千万円を一つの境目とすると、1千万円以上の一般競争入札は下がり気味だが、1千万円未満の指名競争入札は依然高めに推移しているという理解でよいか。</p> <p>○一般競争入札と指名競争入札では入札制度としても異なるが、制度としての違いという部分の影響も考えられるか。</p> <p>○その点が市民の方から見て公平公正な入札と言えるかどうかというところが大切だと思う。全体的に見て落札率は下がっていると見てよいか。</p> <p>○建設工事の分類に入っているものの中で機器の製品比率が高い工事の場合、落札率は低くなっているが、本来予定価格を算出する段階で、その点を考慮して予定価格そのものを低く設定すべきものではないか。</p> <p>○入札件数と落札率との関係性がわかるような資料は作成しているか。</p>	<p>で、実質的には問題ない。</p> <p>○比較的規模が小さい業者も参加できるのが指名競争入札なので、なかなか落札率も下がらない傾向があるのではないかと考える。</p> <p>○指名競争入札の方は地域性も考慮している。価格競争だけでは地域の小さい業者に仕事が回らないという状況が生まれるので、価格が低い工事については指名競争入札の方式を残しているところである。</p> <p>○傾向としては、落札率は下がっているし、一定の競争性が働いているものと考えている。</p> <p>○予定価格の設定にあたっては、業者から見積書を徴し、ヒアリング等を行い、実勢価格を把握した上で算出し、査定も行うので、本来は予定価格に近いところで落札されるのが通常だと考えている。ただし、今後同様の案件について力を入れていきたいと考える業者の中には、実績を作るために採算を度外視して応札しようとする業者があり、落札率が極端に下がる場合がある。このような場合を想定して、機器の製品比率が高い工事については、調査基準価格又は最低制限価格を設けないよう運用している。基本的に調査基準価格等はダンピング防止等を目的としているので、このような場合には、市内部の検査体制等を整えれば、適正な製品を納入してもらえるものと考えている。</p> <p>○発注時期でまとめた資料は作成しているが、入札件数でまとめた資料は作成していない。</p>
---	---

【審議事項について】

1. 一般競争入札【栽培センター殺菌設備工事】

(説明のポイント)

- ・鹿島・島根栽培漁業振興センターにおいて、健全なアワビの種苗を飼育するため、海水の紫外線殺菌設備を導入するもの。
- ・入札参加資格は市内業者で、平成9年度以降に完成した工事で1契約で2,500万円以上の給排水衛生設備工事の実績がある。
- ・配置技術者については恒常的な雇用関係のある監理技術者または主任技術者の資格を有する者を配置する。
- ・入札参加資格確認申請業者は3社、入札参加業者も3社であった。管工事としては設計金額の大きい工事であること、通常管工事を取り扱う給排水衛生設備工事とは異なる特殊工事であったこと、また、冬場の日本海沿岸での厳しい条件での工事であったことから、参加業者数が少なかったのではないかと分析している。

質 問 及 び 意 見

回 答

<p>○特殊な工事であったということだが、市としては入札参加資格のある業者のうち応札する業者数はどれくらいを想定していたのか。</p>	<p>○本工事は、建設業法の種類では管工事に該当し、入札希望価格は5,450万円、設計額は約6,200万円ということから、市の運用基準として2,500万円以上の給排水衛生設備工事の施工実績を求めているが、この条件で想定される業者数は21社となる。</p>
---	---

<p>○それにしても、3社というのは少なすぎるのではないか。</p> <p>○特殊というのは主に、紫外線殺菌設備を扱うという部分なのか、扱う管径が大きいという部分なのか。</p> <p>○見積段階のところで配管と紫外線殺菌設備との金銭的な割合はどのようになっていたか。</p> <p>○水道で紫外線殺菌装置を扱うことはあるか。</p> <p>○今回は金額をまとめた結果がたまたま近い金額になったと考えるのか。</p> <p>○従来施設設備としては既存のものがあつたが、このたび必要となつて新たに紫外線殺菌装置を取り付けることになつたということか。</p> <p>○落札率が高かつたこと、また入札参加業者が3社であつたことから本案件が抽出されたと思うが、本案件のように扱う機械が特殊なため、機械の部分で競争性が働かない場合、落札率が高くなつてしまうことは考えられる。もし、この機械を今後更新することがあれば、そういう点に意識を置いていただきたい。</p> <p>○紫外線殺菌装置の性能はどのようなものか。</p> <p>○紫外線殺菌装置を作成する会社はどのくらいあるのか。</p> <p>○本案件は適切に手続きを行われているということであるか。 (全委員、了承。)</p>	<p>○最近業者各社において技術者の数が少なくなつてきており、入札案件に何でも参加するのではなく、狙いを絞つて参加する傾向が全体的に強くなつてきている。このことに加えて、扱う管の径が太い等特殊な工事であるということが敬遠される要因になつたのではと分析している。</p> <p>○両方が当てはまる話で、まず紫外線殺菌設備を扱うことは各社において今までほとんど無いのではないかとと思われる。管径も通常建物に付随する給排水衛生設備工事で扱うものよりもかなり大きいので、このことについても特殊と言へる。</p> <p>○紫外線殺菌装置が見積金額全体の約半分を占めている。</p> <p>○水道では紫外線殺菌装置を扱うことはない。</p> <p>○推測になるが、この工事に関しては、金額としても大きく、また普段扱わない機械があり、この機械の部分ではメーカーとの交渉でほとんど差が出なかつたのではないかとと思われる。</p> <p>○近年他地域でアワビの筋肉が硬直するハリオチス感染症が発生しているため、紫外線殺菌装置を導入することにした。</p> <p>○1時間あたり76トンの海水を処理できるものを導入している。</p> <p>○見積を徴する段階で、全国的に調べたところ、2社しかなかつた。海水を処理するものとなると限定されてしまつた。</p>
---	--

2. 指名競争入札【平成22年度保田川改良工事】

(説明のポイント)

- ・当該河川は、平常時は水量が少ないが、いったん雨が降ると水量がかなり上がり、護岸が侵食されているために改良するもの。
- ・指名選定の考え方は、土木一式工事登録のある市内業者で、建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋北地区にある39社から10社をローテーションにより選定した。
- ・契約金額は6,877,500円、落札率は99.79%であつた。

- ・指名業者数は10社、実際の入札参加業者は1社であった。
- ・本案件は同一案件で3回目の入札にあたる。1、2回目は全社辞退で不調に終わっている。河川工事を本案件以外に4件入札実施しているが、いずれも1回目の入札が全社辞退で不調となっている。業者に聞き取り調査を実施したところ、発注時期に既に各社手持ち工事を持っており余裕が無かった、また、河川工事は雨が降ると工事ができないため、天候に左右されない他のやりやすい工事を優先したという回答があった。

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○例えば3回目で落札しなかった場合、落札されるまで入札を繰り返すのか。</p> <p>○先ほどの説明から参加業者数が少なかった理由は理解できるが、落札率が高いことについてはどのように考えているか。</p> <p>○河川改良工事は以前から落札率が高い状況が続いているが。</p> <p>○今後もそのような取り組みを強化していただきたい。本案件は適切に手続きが行われているということによるのか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○この工事は第5大橋関連工事で年度内にどうしても行わないといけない事情があった。もし、ここで落札されなかったら、施工延長を短くする等設計を見直すか、随意契約を検討することになったと思われる。</p> <p>○河川工事というのは、側溝改良工事とは違って、製品を現場まで持っていくのに仮設道を作ったり、事前の手間が非常にかかるので、入札額を高めを設定し、落札しなかったらやらなくてもいいと考えているのではないかと推測している。</p> <p>○以前に抽出案件に取り上げられた時も、敬遠されていると回答している。今後の対策も検討しているが、発注時期を出水時期から外す必要があるため、どうしても工期が遅れてしまう。発注課としては、そのような状況を踏まえ、水量が比較的少ないと判断できる河川については、今年度からできるだけ早期発注するようにしている。</p>

3. 指名競争入札【市道大森上来待線外舗装改良工事】

(説明のポイント)

- ・平成21年度から年次的、継続的に舗装工事を行っているものである。
- ・舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有し、恒常的にオペレーターが在籍する12社から全社を指名選定し、入札参加業者は12社全社であった。
- ・受注意欲が高く入札参加業者が多かった理由としては、11月末の段階で舗装工事全体の約7割が既に発注されている状況で残工事が少なくなっていたこと、舗装工事の中では比較的請負対象金額の大きい工事であったこと、山陰道無料化に伴い通過交通が少なかったこと、また、道路全幅を使った舗装で施工がしやすかったことが考えられる。

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○先ほどの説明で、工事のしやすさが参加業者数の多さにつながっているということだが、以前から参加業者数が多い傾向はあったと思うが。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということによるのか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○舗装工事は全社指名をしているが、以前から辞退は少ない。</p>

<p>4. 随意契約【IP電話整備工事】</p> <p>(説明のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 東出雲町との合併に伴い、本庁と東出雲町役場との内線電話網を結ぶものである。電話交換機は端子容量が不足するため、機器を増設して対応するものである。 随意契約の理由は、当初のシステム構築を対象業者が行っているため、その保守管理は技術的及び著作権上対象業者以外では不可能であるもの。 	
<p>5. 指名競争入札【松江市総合文化センター中長期保全計画策定業務委託】</p> <p>(説明のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持修繕について、危険度に応じて適切な処理を適切な時期に計画的に施せるよう、建築・設備の危険度及び老朽度の的確な把握をするため調査し、併せて中長期の修繕保全計画を策定するものである。 松江市で特定の施設についてこのように本格的な中長期保全計画を策定するのは初めてである。 建物ではこのような計画を策定するのは、質が高く、維持管理費がかかるものについて行う。 建築コンサルタント登録のある市内業者のうち、建築士の資格を有する者が4名以上在籍しており、本業務が対応可能な業者6社から全社を指名した。入札参加業者は6社全者である。 結果の特徴として、入札金額の差が大きいこと、また予定価格超過者が多いことが挙げられる。本業務の予定価格算出に当たっては、特殊業務であり標準的な単価がないため、本業務が対応可能な6社から事前に見積書を徴している。これを基に予定価格を設定しているが、入札参加各社は算出基準がなく、予定価格や他社の見積額の推計が難しかったのではないかと考えている。 	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○説明にもあったが、やはりこんなに金額にばらつきが出るものか。</p> <p>○今後も同様の案件が出てくる可能性があるので、本案件の分析をまた参考にできると思う。本案件は適切に手続きを行われているということによろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○例えば配管の精密な肉厚を内視鏡で確認したり、外壁にいたっては叩いてその音から状況を調査するなど、人が行う作業が多いので、各作業を何人役で行うかという積算をする時に差が出て、ばらつきが出たのではないかと推察する。</p>
【報告事項】	
1. 入札制度の改善について	
書面により報告	
2. 指名停止等の運用状況について	
書面により報告	
【その他】	
<p>[次回開催予定について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽出対象期間は平成23年4月1日から平成23年7月31日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、大野委員とする。 平成23年10月に開催することとし、日時は事務局で調整する。 	
以上	